

# 平成28年度 行政評価表

所属部	環境市民部	所属課	廃棄物対策課	正職員数	13人	その他職員数	19人	電話番号 (内線)	055-971-8993 (内線6484)
-----	-------	-----	--------	------	-----	--------	-----	--------------	--------------------------

総合計画の 位置付け	基本目標	Ⅲ 環境を保全し人と文化を育むまち
	基本方針	5 環境を保全し継承するまちづくり
	施策名	31 循環型社会の形成<ごみ・リサイクル>

年度	H28	H29	H30	H31	H32
予算額 (千円)	719,937				
決算額 (千円)	710,582				

※人件費、一般諸経費、交際費、積立金、繰出金、出資金及び公債費は含まれておりません。

※予算費目表に再掲で表示されている事業は、再掲元の予算費目及び総括表に予算額及び決算額を記載しています。

※赤字:補正・流用により当初予算額から変更した予算額

所管する施策の 方向一覧	Ⅲ-5-31-(1)ごみの減量・資源化の推進
	Ⅲ-5-31-(2)ごみの適正処理
	Ⅲ-5-31-(3)環境衛生の向上

成果指標 【行政改革大綱における取 組事項名】	指標計算式(指標の説明)	年度	H28	H29	H30	H31	H32
1人当たり1日のごみ排出量	市民1人が1日に出すごみの 排出量	目標	943g	943g	943g	943g以下	943g以下
		実績	947g				
		進捗状況	遅れ				
ごみのリサイクル率	ごみの排出量のうち、リサイ クルされた資源ごみの割合	目標	25%	25%	25%	25%	25%
		実績	13.7%				
		進捗状況	遅れ				
各推進員の活動回数 【10(仮称)3R活動推進員 の養成及び活動支援】	推進員単独での活動と市と の協働での活動の合計	目標	推進員依頼者数25人	6回以上	6回以上	6回以上	6回以上
		実績	20人				
		進捗状況	遅れ				
直営による収集運搬業務数 【49 一般廃棄物収集運搬 等業務の全面委託化】	平成33年度に全ての一般廃 棄物収集運搬等業務を委託 化	目標	—	—	—	業務数1減	業務数2減
		実績					
		進捗状況					

ごみ処理広域化に係る調査研究 【55 ごみ処理広域化に係る調査研究】	調査研究した回数	目標	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上
		実績	1回				
		進捗状況	順調				
制度見直し検討回数 【57 少量排出事業者にかかる制度見直し】	三島市廃棄物処理対策審議会の意見を伺いながら検討を行った回数	目標	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上
		実績	3回				
		進捗状況	順調				
ごみ袋への処理手数料の上乗せ検討回数 【58 ごみ処理の有料化】	三島市廃棄物処理対策審議会の意見を伺いながら検討を行った回数	目標	生活系自己搬入ごみ有料化	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上
		実績	H28.4.1から施行				
		進捗状況	順調				

施策の方向	Ⅲ-5-31-(1)ごみの減量・資源化の推進
-------	------------------------

### 1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年4月1日から生活系自己搬入ごみ有料化と事業系一般廃棄物処理手数料改定を施行したので、それに伴うごみ減量効果の把握を行う。</li> <li>・平成27年度に実施したごみ組成分析調査の結果を分析し、今後のごみ減量・資源化施策の検討を行う。</li> <li>・三島市のごみ処理の現状等を市民に周知し、更なるごみの減量及び資源化を推進するため、出前講座を実施し、ごみ減量トレンドィ等の広報誌の発行を行う。</li> <li>・「だっくす食ん太くんNEO」の普及拡大を図るため、生ごみが分解し消滅するという利点をアピールし普及啓発を行うとともに、平成27年度と同様に生ごみ処理容器の無償貸与事業を行う。</li> <li>・生ごみ処理機購入費補助事業に代わる新たな施策として、ごみ減量アドバイザー養成講座を実施する。</li> <li>・集積所からの資源古紙等の持ち去り禁止条項の制定について、廃棄物処理対策審議会の意見を伺いながら検討を行う。</li> <li>・平成28年4月1日から葉付き剪定枝の資源化やミックス古紙の出し方と対象品目の拡大を行うとともに、新たな分別品目の拡大について調査研究を行う。</li> <li>・平成27年度と同様に、リユースを推進するため、フリーマーケットを開催する。</li> <li>・近隣市町とのごみ処理広域化の方向性について調査研究を行う。</li> </ul>
【行革取組項目】 今年度の実施計画	<p>【10 (仮称)3R活動推進員の養成及び活動支援】 養成講座を開催し、修了者に推進員を依頼する。</p> <p>【55 ごみ処理広域化に係る調査研究】 ごみ処理広域化に係る調査研究を行う。</p> <p>【58 ごみ処理の有料化】 平成28年4月1日から生活系自己搬入ごみ有料化を施行する。</p>

### 2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活系自己搬入ごみ有料化と事業系一般廃棄物処理手数料改定によるごみ減量効果の把握及び検証を行う。</li> <li>・ごみ組成分析調査の結果を分析し、今後のごみ減量・資源化施策の検討を行う。</li> <li>・出前講座を実施し、ごみ減量トレンドィ等の広報誌の発行を行う。</li> <li>・「だっくす食ん太くんNEO」の利点をアピールした広報誌の発行や販売説明会等を行うとともに、継続して生ごみ処理容器の無償貸与事業を行う。</li> <li>・ごみ減量アドバイザー養成講座を実施する。</li> <li>・廃棄物処理対策審議会で集積所からの資源古紙等の持ち去り禁止条項の制定について審議していただく。</li> <li>・葉付き剪定枝の資源化やミックス古紙の出し方と対象品目の拡大を行うとともに、新たな分別品目の拡大について調査研究を行う。</li> <li>・フリーマーケットについて出店希望者の受付から当日の運営まで委託し実施する。</li> <li>・駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会の開催を幹事市町に働きかけ、近隣市町とのごみ処理広域化の方向性について調査研究を行う。</li> </ul>
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	<p>【10 (仮称)3R活動推進員の養成及び活動支援】 平成28年度にごみ減量アドバイザー養成講座を行い、修了者にアドバイザーを委嘱する。平成29年度以降は、市とアドバイザーが協働で3R活動等の周知啓発を行うとともに、アドバイザーの活動支援を行う。</p> <p>【55 ごみ処理広域化に係る調査研究】 近隣市町とのごみ処理広域化の方向性について調査研究していく。</p> <p>【58 ごみ処理の有料化】 平成28年4月1日より生活系自己搬入ごみ有料化を施行する。また、有料化によるごみ削減効果やごみ処理経費の推移及び他市町の状況等を検証する中で、廃棄物処理対策審議会の意見を伺いながら、ごみ袋への処理手数料の上乗せについて検討を行う。</p>

### 3 実施内容に対する評価(Check)

<p>実施(改善)計画に対する今年度の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年4月1日から施行した生活系自己搬入ごみ有料化と事業系一般廃棄物処理手数料改定に伴うごみ減量効果を把握し検証を行った。</li> <li>・ごみ組成分析調査の結果を分析し、生ごみ減量施策の推進やミックス古紙の出し方と対象品目の拡大を行った。</li> <li>・更なるごみの減量や資源化を推進するため、出前講座を30回開催し、ごみ減量trenディを4回発行した。</li> <li>・「だっくす食ん太くんNEO」の普及拡大のため、広報紙での周知や販売説明会を実施すると共に、生ごみ処理容器の無償貸与事業を実施した。</li> <li>・ごみ減量アドバイザー養成講座を6回開催し、受講者25人のうち、アドバイザーとしてのボランティア活動にご協力いただける方20人に対し活動を委嘱した。</li> <li>・集積所からの資源古紙等の持ち去り禁止条項の制定について、廃棄物処理対策審議会で審議していただき、11月15日に答申をいただいた。</li> <li>・平成28年4月1日から葉付き剪定枝の資源化やミックス古紙の出し方と対象品目の拡大を実施した。また、分別品目拡大の調査研究を行った。</li> <li>・フリーマーケット事業を委託により年8回開催した。(雨天により2回中止)</li> <li>・駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会が平成28年度幹事市町である函南町で11月29日に開催され、駿豆地区8市4町におけるごみ処理に関する様々な問題について意見交換を行い、その中で、各市町のごみ処理施設の現状や新規施設の検討状況について情報共有することができた。</li> </ul>
<p>【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価</p>	<p>【10 (仮称)3R活動推進員の養成及び活動支援】 ごみ減量アドバイザー養成講座を6回開催し、受講者25人のうち、アドバイザーとしてのボランティア活動にご協力いただける方20人に対し活動を委嘱した。</p> <p>【55 ごみ処理広域化に係る調査研究】 駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会が平成28年度幹事市町である函南町で11月29日に開催され、駿豆地区8市4町におけるごみ処理に関する様々な問題について意見交換を行い、その中で、各市町のごみ処理施設の現状や新規施設の検討状況について情報共有することができた。</p> <p>【58 ごみ処理の有料化】 平成28年4月1日から生活系自己搬入ごみ有料化を施行した。</p>

### 4 評価結果に対する改善内容(Action)

<p>次年度の事業のあり方(改善措置)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活系自己搬入ごみ有料化や事業系一般廃棄物処理手数料改定に伴うごみ減量効果を分析するとともに、ごみ減量及び分別等に関する市民意識調査、ごみ組成分析調査を行い、平成30年度に策定する次期一般廃棄物処理基本計画の基礎資料とする。</li> <li>・更なるごみの減量や資源化を推進するため、引き続き出前講座の開催やごみ減量trenディ等広報誌の発行を行う。</li> <li>・「だっくす食ん太くんNEO」の普及拡大のため、引き続き広報誌での周知や販売説明会を開催するとともに、生ごみ処理容器の無償貸与事業を実施する。</li> <li>・ごみ減量アドバイザーの活動を支援するとともに、市とアドバイザーの協働でごみの減量や資源化に係る事業を実施する。</li> <li>・廃棄物処理対策審議会からの答申内容に基づき、集積所からの資源古紙等の持ち去り禁止に係る条例改正を行い対策を強化する。</li> <li>・リサイクル率の向上を図るため、分別品目拡大について調査研究を行う。</li> <li>・リユース活動を推進するため、引き続きフリーマーケット事業を委託により行う。</li> <li>・駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会に参加するとともに、広域処理の可能性のある市町に対し個別に情報収集を行い、近隣市町とのごみ処理広域化の方向性について調査研究を行う。</li> </ul>
<p>【行革取組項目】 次年度の対応方針</p>	<p>【10 (仮称)3R活動推進員の養成及び活動支援】 ごみ減量アドバイザーの活動を支援するとともに、市とアドバイザーの協働でごみの減量や資源化に係る事業を実施する。</p> <p>【55 ごみ処理広域化に係る調査研究】 駿豆地区広域市町ごみ処理問題検討会に参加するとともに、広域処理の可能性のある市町に対し個別に情報収集を行い、近隣市町とのごみ処理広域化の方向性について調査研究を行う。</p> <p>【58 ごみ処理の有料化】 生活系ごみ袋への処理手数料の上乗せについて、廃棄物処理対策審議会の意見を伺いながら検討を行う。</p>

## 5 業務計画

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針		行政改革 大綱にお ける取組
			年度	H28	H29	H30	H31	H32	改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	
1 一般廃棄物処理 基本計画の推進事 業 【行革取組番号10】 【行革取組番号55】 【行革取組番号58】	1	ごみ減量効果の把握 及び検証 把握・検証回数	目標	1回	1回	1回	1回	1回	維持	
			実績	3回						
			達成状況	達成						
	2	広報誌による啓発 広報掲載回数	目標	6回	6回	6回	6回	6回	維持	
			実績	8回						
			達成状況	達成						
	3	出前講座の開催 開催回数	目標	12回	12回	12回	12回	12回	維持	
			実績	30回						
			達成状況	達成						
	4	ダンボールコンポスト 「だっくす食ん太くん NEOの販売」 販売数	目標	100個	100個	100個	100個	100個	改善	広報誌や出張販売における 周知方法を工夫する。
実績			40個							
達成状況			未達成							
5	ごみ減量アドバイザー 養成講座の実施 講座回数	目標	6回	終了	終了	終了	終了	終了	講座修了者20名に対し、アド バイザーの活動を委嘱した。	○
		実績	6回							
		達成状況	達成							
6	集積所からの資源古 紙等持ち去り禁止条項 制定に関する審議 審議回数	目標	2回	終了	終了	終了	終了	終了	廃棄物処理対策審議会での 審議が終了し、H28.11.15に答 申をいただいた。	
		実績	2回							
		達成状況	達成							
7	ごみ処理広域化の方 向性について調査研 究 調査研究回数	目標	1回	1回	1回	1回	1回	維持		○
		実績	1回							
		達成状況	達成							
8	ごみ袋への処理手数 料の上乗せ検討回数 検討回数	目標	生活系自己搬入ごみ有料化	1回	1回	1回	1回	維持		○
		実績	H28.4.1～施行							
		達成状況	達成							
9	フリーマーケットの開 催 開催回数	目標	10回	10回	10回	10回	10回	維持	未達成の理由は雨天中止に よるもの。	
		実績	8回							
		達成状況	未達成							
10	フリーマーケットの開 催 出店数	目標	460店	460店	460店	460店	460店	維持	未達成の理由は雨天中止に よるもの。	
		実績	406店							
		達成状況	未達成							

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組		
			年度	H28	H29	H30	H31			H32	
2 生ごみ処理容器 無償貸与事業	1 コンポスト容器の無償 貸与	貸与件数	目標	30件	30件	30件	30件	30件	維持		
			実績	31件							
			達成状況	達成							
	2 ぼかし専用容器の無 償貸与	貸与件数	貸与件数	目標	30件	30件	30件	30件	30件	改善	広報誌や出張受付における 周知方法を工夫する。
				実績	22件						
				達成状況	未達成						
3 一般廃棄物資源 化事業	1 ミックス古紙の分別回 収	年間回収量	目標	350t	400t	400t	400t	400t	拡大	周知啓発の充実を図り、目標 を上方修正する。	
			実績	395t							
			達成状況	達成							
	2 小型家電の分別回収	年間回収量	年間回収量	目標	170t	170t	170t	170t	170t	維持	持ち込みごみ有料化に伴う年 度末の駆け込み搬入等が未 達成の理由と考えられる。
				実績	115t						
				達成状況	未達成						
	3 葉付き剪定枝の資源 化	資源化量	資源化量	目標	50t	3t	3t	3t	3t	縮小	当該業務は平成28年度から 開始したが、当初の想定より 資源化できるものの搬入が少 なかったため下方修正する。
				実績	2.77t						
				達成状況	未達成						
	4 廃プラスチック類等の 分別品目拡大の検討	容器包装リサイクル法 等、法改正の確認	容器包装リサイクル法 等、法改正の確認	目標	2回	2回	2回	2回	2回	維持	
				実績	2回						
				達成状況	達成						
	5 資源化中間処理業務	資源化量	資源化量	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理		
				実績	3164.19t						
				達成状況	達成						



施策の方向	Ⅲ-5-31-(2)ごみの適正処理
-------	-------------------

### 1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種一般廃棄物収集等運搬業務委託について、競争原理を働かせた契約方法への変更を検討していく。また、現在の単年度契約から複数年度契約への変更の可能性についても検討していく。</li> <li>・粗大ごみの収集サービスについて、高齢者世帯等の一部市民を対象に実施してきたが、サービスの公平化を図るため、市内の一般家庭全てを対象に実施する。</li> <li>・県内の市町の中で三島市だけが採用している少量排出事業者がごみ集積所を無料で利用できる制度の見直しに向け、廃棄物処理対策審議会の意見を伺いながら検討を進める。</li> <li>・施設管理に於いては、平成28年度よりAB系炉共稼働し始めたため、活動指標中のダイオキシン類測定回数を目標達成できるように努める。また今後ごみ処理施設を維持管理していくが稼働年数が経過するとともに維持管理費が高騰するため平準化するように施設を維持管理して行く。</li> <li>・最終処分場の残容量が少ないため、焼却灰の外部搬出を継続しながら、新規最終処分場候補地の選定作業を進める。</li> <li>・国の指針や県の計画を踏まえ、市の地域防災計画との整合を図り、災害廃棄物処理計画の策定を行う。</li> </ul>
【行革取組項目】 今年度の実施計画	<p>【49 一般廃棄物収集運搬等業務の全面委託化】 委託と直営の費用比較と業務内容の検討を行う。</p> <p>【57 少量排出事業者にかかる制度見直し】 制度の見直しについて検討を行う。</p>

### 2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種一般廃棄物収集等運搬業務委託について、費用対効果の検証や業務内容見直しの検討を行う。また、債務負担行為や長期継続契約による複数年度契約の可能性についても検討を行う。</li> <li>・粗大ごみ収集サービスの公平化を図るため、高齢者世帯等粗大ごみ回収事業を終了して、粗大ごみ戸別収集事業を開始する。</li> <li>・廃棄物処理対策審議会でも少量排出事業者制度の見直しについて審議していただく。</li> <li>・ダイオキシン類測定回数を目標の30回実施し、さらにごみの適正処理について努力する。</li> <li>・粗大ごみ処理施設基幹的設備整備工事を実施し、今後の修繕及び工事金額を平準化させる。</li> <li>・焼却灰の外部搬出を継続するとともに、新規最終処分場候補用地について地権者抽出等の調査を行う。</li> <li>・平成28年度末までに災害廃棄物処理計画を策定する。</li> </ul>
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	<p>【49 一般廃棄物収集運搬等業務の全面委託化】 直営で実施している一般廃棄物収集運搬業務について、業務委託による委託金額の増額と直営による経費の減額を比較検討し、行政コストが削減できる業務内容を検討する。</p> <p>【57 少量排出事業者にかかる制度見直し】 ごみ排出量やごみ処理経費の推移及び他市町の状況等を検証する中で、廃棄物処理対策審議会の意見を伺いながら制度の見直しについて検討を行う。</p>

### 3 実施内容に対する評価 (Check)

<p>実施(改善)計画に対する今年度の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種一般廃棄物収集運搬等業務委託について、今後の委託契約方法の在り方を決定した。</li> <li>・平成28年4月1日から、市内の一般家庭全てを対象とした粗大ごみ戸別収集事業を開始した。</li> <li>・少量排出事業者制度の見直しについて、廃棄物処理対策審議会で審議していただき、平成29年3月27日に答申をいただいた。</li> <li>・施設管理について、前年まで実施していた工事の影響が無くなったため、活動指標中のダイオキシン類測定回数目標が達成できた。また、ごみ処理施設を維持管理については修繕について修繕項目各々につき取捨選択を行い、緊急性が高いものから実施した。また、予防保全の観点から各機器の寿命などを考慮し一部機器を前倒して修繕し、修繕費を平準化するように施設維持管理を行った。</li> <li>・最終処分場については、焼却灰の外部搬出をおおよそ2,500トン搬出し施設の延命を図りつつ、それと並行して、新規最終処分場候補地の2か所目の測量及び所有者の洗い出しを実施した。</li> <li>・国の指針や県計画等を踏まえ、市の地域防災計画との整合を図り、平成29年3月に三島市災害廃棄物処理計画を策定した。</li> </ul>
<p>【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価</p>	<p>【49 一般廃棄物収集運搬等業務の全面委託化】 各種一般廃棄物収集運搬等業務委託の今後の契約方法の在り方が決定したことにより、直営で実施している一般廃棄物収集運搬業務の今後の在り方が決定した。</p> <p>【57 少量排出事業者にかかる制度見直し】 平成28年3月17日に廃棄物処理対策審議会に諮問し、計4回の審議を経て、平成29年3月27日に答申をいただいた。</p>

### 4 評価結果に対する改善内容 (Action)

<p>次年度の事業のあり方(改善措置)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種一般廃棄物収集運搬等業務委託について、決定した今後の契約方法の在り方に基づき、委託金額の検証や複数年契約への移行方法を検討する。</li> <li>・粗大ごみ戸別収集事業について、引き続き事業を実施していくが、より多くの市民に利用されるよう周知を図る。</li> <li>・少量排出事業者制度の改正について、廃棄物処理対策審議会からの答申内容を踏まえ、平成30年4月1日からの施行に向け、事業者説明会や条例改正等の手続きを行う。</li> <li>・施設管理について、今後ごみ処理施設を維持管理していくが稼働年数が経過するとともに維持管理費が高騰するため引き続き修繕費の平準化に努める。</li> <li>・最終処分場については、焼却灰の外部搬出を継続しながら、平成28年度までに実施した各測量資料などを基に新規最終処分場候補地の選定作業を進める。</li> </ul>
<p>【行革取組項目】 次年度の対応方針</p>	<p>【49 一般廃棄物収集運搬等業務の全面委託化】 決定した今後の在り方に基づき、引き続き直営と委託の費用検証や行政コストを削減する業務内容について検討する。</p> <p>【57 少量排出事業者にかかる制度見直し】 廃棄物処理対策審議会からの答申内容を踏まえ、平成30年4月1日からの施行に向け、事業者説明会や条例改正等の手続きを行う。</p>

## 5 業務計画

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組	
			年度	H28	H29	H30	H31			H32
1 一般廃棄物収集 運搬業務委託事業	1 一般廃棄物収集運搬 業務委託	対象集積所箇所数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	1,757						
			達成状況	達成						
	2 一般廃棄物収集運搬 業務委託	一般廃棄物収集量	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	24,236t						
			達成状況	達成						
	3 資源古紙回収業務委 託	対象集積所箇所数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	1463						
			達成状況	達成						
	4 資源古紙回収業務委 託	資源古紙収集量	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	1,118t						
			達成状況	達成						
	5 ペット容器配布・回収 及び収集運搬業務委 託	対象集積所箇所数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	488						
			達成状況	達成						
	6 ペット容器配布・回収 及び収集運搬業務委 託	ペットボトル・白色トレ イ等収集量	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	65t						
			達成状況	達成						
	7 一般廃棄物収集容器 配布業務委託	対象集積所箇所数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	1458						
			達成状況	達成						
	8 一般廃棄物収集容器 配布業務委託	収集容器配布数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	219,622個						
			達成状況	達成						

事業名	手段・業務内容 No.	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組	
			年度	H28	H29	H30	H31			H32
2 一般廃棄物収集 運搬等業務の全面 委託化事業 【行革取組番号49】	1 直営による一般廃棄物 収集業務の委託化	直営による収集運搬 業務数	目標	—	—	—	業務数1減	業務数2減		○
			実績							
			達成状況							
3 ごみ処理サービ ス提供事業	1 ふれあいさわやか回収 事業	利用者数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	125世帯						
			達成状況	達成						
	2 粗大ごみ戸別収集事 業	利用者数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	1,095人						
			達成状況	達成						
4 少量排出事業者 制度見直し事業 【行革取組番号57】	1 制度見直しに係る審議 (H29以降は検討)	審議回数 (H29以降は検討回 数)	目標	3回	1回	1回	1回	1回	維持	○
			実績	3回						
			達成状況	達成						
5 処理施設整備事 業	1 粗大ごみ処理施設基 幹的設備整備工事	完成時期	目標	平成29年3月	終了	終了	終了	終了	終了	平成28年度で「粗大ごみ処理 施設基幹的設備整備工事」 が終了したため。
			実績	平成29年3月						
			達成状況	達成						
	2 新規最終処分場候 補用地調査	調査箇所	目標	1箇所	終了	終了	終了	終了	終了	平成28年度で「最終処分場候 補用地調査業務委託」が終 了したため。
			実績	1箇所						
			達成状況	達成						
6 施設管理業務委 託事業	1 ごみ焼却処理施設の 運転管理	ごみ焼却稼働日数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	360						
			達成状況	達成						
7 施設補修事業	1 ごみ処理施設の補修	施設平均稼働日数	目標	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	維持	
			実績	360						
			達成状況	達成						
8 ダイオキシン対 策事業	1 排ガスのダイオキシン 類調査	ダイオキシン類測定回 数	目標	30回	30回	30回	30回	30回	維持	
			実績	30回						
			達成状況	達成						
	2 排ガス・浸出水等のダ イオキシン類調査	ダイオキシン類測定箇 所数	目標	26箇所	26箇所	26箇所	26箇所	26箇所	維持	
			実績	26箇所						
			達成状況	達成						
9 災害廃棄物処理 計画策定事業	1 災害廃棄物処理計画 の策定	完了時期	目標	平成29年3月	終了	終了	終了	終了	終了	平成29年3月に策定が完了し たため。
			実績	平成29年3月						
			達成状況	達成						



施策の方向	Ⅲ-5-31-(3)環境衛生の向上
-------	-------------------

### 1 当該年度の実施計画(Plan)

前年度評価に対する今年度の実施(改善)計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の環境問題への意識を高めるために各種イベントを実施するが、より多くの市民に参加してもらえるよう周知啓発を図る。</li> <li>・清潔で安全な住みよい生活環境を維持するため、防疫活動を実施するほか、自治会などが実施する環境美化活動や防疫活動を支援する。</li> <li>・平成28年4月から清掃センターへのごみ持ち込みが有料になり、不法投棄の増加が懸念されるため、巡回監視の継続や警察等との連携を強化して不法投棄の防止を図る。</li> <li>・地域における環境美化推進のリーダーである環境美化推進員が円滑に活動できるよう支援し、また、推進員の資質の向上を図る。</li> </ul>
【行革取組項目】 今年度の実施計画	

### 2 実施計画に対する取組内容(Do)

実施(改善)計画に対する今年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の環境問題への意識を高めるため、三島の川をきれいにする奉仕活動、統一美化キャンペーン、環境美化推進大会、環境衛生週間ポスター・標語展を開催する。</li> <li>・より多くの市民に各種イベントに参加してもらえるよう、市ホームページで実施の周知を行う。</li> <li>・定期的にユスリ蚊等の駆除を実施する。</li> <li>・自治会が実施する町内清掃や防疫活動の支援を行う。</li> <li>・不法投棄防止対策として、不法投棄監視員による定例巡回監視を行う。</li> <li>・不法投棄監視及び廃棄物回収分別業務委託により、不法投棄の巡回監視と不法投棄物の適正処理を行う。</li> <li>・環境美化推進員活動補助事業により、推進員の円滑な活動を支援する。</li> <li>・環境美化推進員の資質の向上を図るため、施設研修や先進地視察研修などを行う。</li> </ul>
【行革取組項目】 計画期間の取組内容(進め方)	

### 3 実施内容に対する評価(Check)

実施(改善)計画に対する今年度の評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・三島の川をきれいにする奉仕活動、統一美化キャンペーン、環境美化推進大会、環境衛生週間ポスター・標語展を開催し、市民の環境問題への意識の高揚を図った。</li><li>・各種イベントの開催を市ホームページで周知した結果、参加者数等が増加した。</li><li>・ユスリ蚊等を駆除するため、定期的に薬剤の散布を実施した。</li><li>・自治会が実施する町内清掃の際に、汚泥等運搬車両の手配や防疫用薬剤の配布を行った。</li><li>・不法投棄監視員による定例巡回監視を実施し、不法投棄の防止を図った。</li><li>・不法投棄監視及び廃棄物回収分別業務委託を実施し、不法投棄の巡回監視と不法投棄物の適正処理を行った。</li><li>・環境美化推進員活動補助事業を実施し、推進員の円滑な活動を支援した。</li><li>・環境美化推進員に対して、施設研修や先進地視察研修などを実施し、推進員の資質の向上を図った。</li></ul>
【行革取組項目】 実施計画に対する今年度の評価	

### 4 評価結果に対する改善内容(Action)

次年度の事業のあり方(改善措置)	<ul style="list-style-type: none"><li>・市民の環境問題への意識の高揚を図るため引き続き各種イベントを実施していくが、より多くの市民に参加してもらえるような周知啓発の方法を検討する。</li><li>・清潔で快適な住みよい生活環境を維持するため、引き続き防疫活動を実施していくほか、自治会などが実施する環境美化活動や防疫活動に対する支援を行う。</li><li>・不法投棄は減少傾向にあると考えられるが、巡回監視活動を継続し、警察等との連携により不法投棄の防止を図る。</li><li>・地域における環境美化推進のリーダーである環境美化推進員が円滑に活動できるよう引き続き支援を行うとともに、各種研修の実施により推進員の資質の向上を図っていく。</li></ul>
【行革取組項目】 次年度の対応方針	

## 5 業務計画

事業名	No.	手段・業務内容	活動指標	目標及び実績					今後の取組み方針 改善内容、終了・休止理由、 目標値変更理由等	行政改革 大綱にお ける取組	
				年度	H28	H29	H30	H31			H32
1 環境衛生推進事業	1	三島の川をきれいにす る奉仕活動	参加者数	目標	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人	維持	
				実績	2,000人						
				達成状況	達成						
	2	統一美化キャンペーン	参加者数	目標	350人	350人	350人	350人	350人	維持	
				実績	374人						
				達成状況	達成						
	3	環境美化推進大会	参加者数	目標	300人	300人	300人	300人	300人	維持	
				実績	301人						
				達成状況	達成						
	4	環境衛生週間ポス ター・標語展	応募点数	目標	1,500点	1,500点	1,500点	1,500点	1,500点	維持	
				実績	1,884点						
				達成状況	達成						
	5	ユスリ蚊等駆除	薬剤散布件数	目標	200件	200件	200件	200件	200件	維持	
				実績	218件						
				達成状況	達成						
2 不法投棄対策事業	1	不法投棄監視員定例 巡回監視	巡回実施回数	目標	9回	9回	9回	9回	9回	維持	
				実績	9回						
				達成状況	達成						
	2	不法投棄監視及び廃 棄物回収分別業務委 託	業務実施日数	目標	240日	240日	240日	240日	240日	維持	
				実績	240日						
				達成状況	達成						
3 環境美化推進員 活動補助事業	1	環境美化推進員活動 費補助金交付	交付団体数	目標	1団体	1団体	1団体	1団体	1団体	維持	
				実績	1団体						
				達成状況	達成						
	2	環境美化推進員活動 費補助金交付	交付金額	目標	1,925千円	1,925千円	1,925千円	1,925千円	1,925千円	維持	
				実績	1,925千円						
				達成状況	達成						





平成28年度 スケジュール表

所属部	環境市民部	所属課	廃棄物対策課	正職員数	13人	その他職員数	19人	電話番号 (内線)	055-971-8993 (内線6484)
-----	-------	-----	--------	------	-----	--------	-----	--------------	--------------------------

総合計画の 位置付け	基本目標	Ⅲ 環境を保全し人と文化を育むまち	施策名	31 循環型社会の形成<ごみ・リサイクル>
	基本方針	5 環境を保全し継承するまちづくり		

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	従事見込時間数		
													正職員	その他職員	
一般廃棄物収集運搬等業務の全面委託化事業 【行革取組番号49】					直営と委託の費用比較検証、委託業務内容の検討								300H	0H	
ごみ処理サービス提供事業					ふれあいさわやか回収事業の実施								241H	5061H	
					粗大ごみ戸別収集事業の実施										
少量排出事業者制度見直し事業 【行革取組番号57】			制度見直し審議				制度見直し審議			制度見直しパブコメ		制度見直し審議・答申	300H	0H	
処理施設整備事業	設計及び積算			粗大ごみ処理施設幹的設備整備工事の履行										1868H	0H
			新規最終処分場候補地調査委託発注及び履行												
施設管理業務委託事業	焼却施設運転管理業務・施設設備等保守業務・警備保障業務・水質検査業務・大気測定業務・最終処分場残余容量測量業務・粗大ごみ受入業務・可燃性処理困難物解体業務・焼却灰等外部搬出業務・集じん灰溶出試験業務の委託発注及び履行												3736H	16252H	
施設補修事業			焼却処理施設前期修繕							焼却処理施設後期修繕				1868H	0H
			粗大ごみ処理施設前期修繕							粗大ごみ処理施設後期修繕					
ダイオキシン対策事業	ごみ焼却処理施設ダイオキシン類測定業務の委託発注及び履行												1868H	0H	

平成28年度 スケジュール表

所属部	環境市民部	所属課	廃棄物対策課	正職員数	13人	その他職員数	19人	電話番号(内線)	055-971-8993 (内線6484)
-----	-------	-----	--------	------	-----	--------	-----	----------	--------------------------

総合計画の位置付け	基本目標	Ⅲ 環境を保全し人と文化を育むまち	施策名	31 循環型社会の形成<ごみ・リサイクル>
	基本方針	5 環境を保全し継承するまちづくり		

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	従事見込時間数		
													正職員	その他職員	
災害廃棄物処理計画策定事業							災害廃棄物処理計画の策定						600H	100H	
環境衛生推進事業	準備	三島の川をきれいにする奉仕活動(8日)											400H	260H	
	準備	統一美化キャンペーン(28日)											200H	100H	
	準備		環境美化推進大会(2日)										400H	160H	
				環境衛生週間ポスター・標語の募集依頼		ポスター・標語優秀作品の展示	ポスター・標語優秀作品の表彰式							200H	60H
							ユスリ蚊防除薬剤散布							30H	1205H
不法投棄対策事業							不法投棄監視員定例巡回監視(毎月第3水曜日)						150H	30H	
							委託業者による不法投棄監視及び廃棄物回収分別業務の実施								
環境美化推進員活動補助事業	環境美化推進員会理事会開催	統一美化キャンペーンへの参加	環境美化推進大会への参加 補助金交付		施設研修実施			静岡県環境衛生大会への参加				先進地視察研修実施	300H	0H	
その他施設係業務							その他施設係内業務						1868H	1806H	
その他業務係業務(課長含む)							その他業務係内業務						3337.25H	0H	

平成28年度 スケジュール表

所属部	環境市民部	所属課	廃棄物対策課	正職員数	13人	その他職員数	19人	電話番号 (内線)	055-971-8993 (内線6484)
-----	-------	-----	--------	------	-----	--------	-----	--------------	--------------------------

総合計画の 位置付け	基本目標	Ⅲ 環境を保全し人と文化を育むまち	施策名	31 循環型社会の形成<ごみ・リサイクル>
	基本方針	5 環境を保全し継承するまちづくり		

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	従事見込時間数	
													正職員	その他職員
その他収集係 業務	← 其他収集係内業務 →												1214.5H	9933.8H